

いばらき生産性向上人材育成スクール

第6期受講生募集中

5月13日(金)
募集締切



生産性向上を図るための現場改善の**人材を育成し**、
現場の生産性向上及び生産リードタイム短縮により
付加価値拡大を支援します。



開催期間 令和4年7月13日(水)～9月22日(木) (20日間)

開催場所 講義：茨城県産業会館(水戸市桜川2-2-35)
※一部「Zoom」によるオンライン
実習：県内企業(※実習先は未定)

募集対象 茨城県内に本社又は事業所を有する企業の経営者及び責任者・リーダー又は候補者
※業種は問いません。
現場改善を行う能力を有する人材の候補者であれば、間接部門の方も対象

募集定員 16名(最少催行人数12名) ※1社2名まで

受講料 25万円(消費税込) ※2人目は20万円(消費税込)
※厚生労働省の「人材開発支援助成金」を受けることが可能です。ただし、助成金を受給するためには条件がありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

スクールの目的

昨今の急激な環境変化の中、企業が生き残るためには、収益力や付加価値の向上を図るうえで生産性向上及び人材育成が必要であることから、**藤本隆宏早稲田大学教授・東京大学名誉教授の「良い設計の良い流れ」に基づく生産性向上を図るための現場改善の知識や手法を有した人材を育成**します。



「良い設計の良い流れ」とは、

付加価値は設計情報に宿り、製品とは設計情報を素材（媒体）に転写したもので、「良い設計」とは付加価値を拡大することであり、「良い流れ」とは顧客へ向かう付加価値の流れを改善することです。

広義のものづくりは、「良い設計の良い流れによって、顧客満足、企業利益、雇用確保の『三方良し』を実現するための企業・産業・現場活動」の全体を目指します。

「現場」とは、付加価値が流れる場所（製造業の工場、開発拠点、非製造業の店舗、サービス拠点、農場など）のことです。

スクールの特徴

- 👍 藤本隆宏教授の「良い設計の良い流れ」に基づく**全体最適を目指した現場改善**。
- 👍 講義だけでなく、**現場実習で改善活動を体験**することで、知識や手法が身に着く。
- 👍 経験豊富な講師による**継続的なフォローアップ体制**で改善活動定着を支援。

講義・現場実習の内容

○講義

藤本隆宏教授の「良い設計の良い流れ」を理解し、現場改善に必要な知識及び「ものと情報の流れ図」「兆候シート」等の現場改善の基本ツールを学びます。

○現場実習

講義で学んだことを現場で活用できるように、実際に実習先の現状を把握し、「ものと情報の流れ図」「兆候シート」等の現場改善の基本ツールを活用し、チームで改善活動を行います。

1 チーム4名に分かれ、講師のサポートにより以下の内容を行います。

- ①**現状把握** 工場内見学（製品や加工工程の確認）→ 改善対象の製品選定
- ②**狙うべき姿** 対象製品の工程調査（加工時間や停滞時間等調査）
- ③**改善案検討** 「ものと情報の流れ図」「兆候シート」等を活用
- ④**改善提案** 実習先企業へ改善提案の発表



カリキュラム

| 実施日 | | 会場 | | 8:30 | 9:00 | 9:30 | 10:00 | 10:30 | 11:00 | 11:30 | 12:00 | 12:30 | 13:00 | 13:30 | 14:00 | 14:30 | 15:00 | 15:30 | 16:00 | 16:30 | 17:00 | | |
|------|----|------|---|-------|-------------------|------|-------|------------|-------|-------|-------|-----------------------------|------------|-------|----------------|-------|-----------------------|-------|-------|------------|-------|-----|--|
| 講義 | 1 | 7/13 | 水 | 産業会館 | | | 開講式 | ものづくりの基礎概念 | | | | | ものづくりの基礎概念 | | 企業の競争力とパフォーマンス | | コストと生産性 | | | | | | |
| | 2 | 7/19 | 火 | オンライン | | | | | | | | 納期・工程・在庫管理 | | | | | | | | | | | |
| | 3 | 7/21 | 木 | オンライン | | | | | | | | 品質管理 | | | フレキシビリティ | | | | | | | | |
| | 4 | 7/26 | 火 | オンライン | | | | | | | | 現場から見た原価管理と利益 | | | | | | | | | | | |
| | 5 | 7/28 | 木 | オンライン | | | | | | | | 調達管理・設備管理・人事管理 (3M) | | | | | 製品開発 | | | | | | |
| | 6 | 8/3 | 水 | 産業会館 | | | | | | | | 「IE」について | | | | | 「5S」について | | | | | | |
| | 7 | 8/8 | 月 | オンライン | | | | | | | | IoT、AIを活用したものづくりDXの基礎 | | | | | | | | | | | |
| | 8 | 8/10 | 水 | オンライン | | | | | | | | IoT、AIの活用について | | | | | | | | | | | |
| | 9 | 8/17 | 水 | 産業会館 | | | | | | | | 目で見える管理・現場改善の進め方 現場実習の手順 | | | | | 演習：『ものと情報の流れ図を活用した改善』 | | | | | | |
| | 10 | 8/18 | 木 | 産業会館 | | | | | | | | 演習：『ものと情報の流れ図』 | | | | | 演習：『標準作業組合せ表』 | | | チーム 打合せ | | | |
| 現場実習 | 11 | 8/24 | 水 | 各現場 | 現場実習<各チーム> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 12 | 8/25 | 木 | 産業会館 | チームディスカッション<各チーム> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 13 | 8/31 | 水 | 各現場 | 現場実習<各チーム> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 14 | 9/1 | 木 | 産業会館 | チームディスカッション<各チーム> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 15 | 9/7 | 水 | 各現場 | 現場実習<各チーム> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 16 | 9/8 | 木 | 産業会館 | チームディスカッション<各チーム> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 17 | 9/14 | 水 | 各現場 | 現場実習<各チーム> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 18 | 9/15 | 木 | 産業会館 | チームディスカッション<各チーム> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 19 | 9/21 | 水 | 各現場 | 現場実習<各チーム> | | | | | | | | | | | | 成果発表 (実習先) | | | | | | |
| | 20 | 9/22 | 木 | 産業会館 | | | | | | | | チーム成果発表 (全体) | | | | | | | | | | 修了式 | |

※内容の一部を変更する場合があります。

経験豊富な講師陣



本堂 一郎

いばらき生産性向上人材育成スクール校長。東京大学ものづくりインストラクター（第10期）修了。大手メーカーで開発・設計・製造・調達・経営全般・コンサルティングに従事。



国谷 晃雄

東京大学ものづくりインストラクター（第1期）修了。国内外において現場改善を支援。大手メーカーで社内の生産革新導入の基礎を作った。



堀井 求

東京大学ものづくりインストラクター（第2期）修了。現地現物現認主義のもと「淀みのない流れづくり改善」手法を駆使した「工場体質強化」活動支援に従事。



御代川 忍

東京大学ものづくりインストラクター（第5期）修了。茨城県を中心に現場改善を支援。大手メーカーで取引先の現場改善の他、人材育成業務に従事。



宇都木 勲

ものづくりシニア塾（第2期）修了。県内中小企業の支援実績多数。大手メーカーで事業計画・拡販・設計・開発・工場運営・生産管理業務に従事。



佐怒賀 憲一

ものづくりシニア塾（第3期）修了。県内中小企業の支援実績多数。大手メーカーで信頼性評価及び品質保証業務に従事。



神山 庸一

ものづくりシニア塾（第3期）修了。県内中小企業の支援実績多数。大手メーカーで製造・生産技術業務に従事。技術士（経営工学部門・生産マネジメント）、労働安全コンサルタント。



三上 克雅

ものづくりシニア塾（第3期）修了。県内中小企業の支援実績多数。大手メーカーで試作開発及び生産技術業務に従事。

スクール受講企業等の声

受講生の声

- ・協力して仕上げる難しさ、楽しさを経験できた。
- ・実習を行うことで講義の内容が分かるようになった。
- ・ものづくりは現場だけで動くわけではなく、計画・進捗・現場全体の流れが一つになることが大事だと感じた。
- ・現場実習では、他社に入って改善活動をするので、とても勉強になった。
- ・現場実習では講師の適切な対応が最高に良かった。
- ・人とのつながり、役割分担の重要性、目標に向かって皆ですすめること。

受講企業経営者の声（M社：龍ヶ崎市）

いばらき生産性向上人材育成スクールを修了したということは、東京大学のスクールを修了したと同じように、生産性向上に対してとてもレベルの高い実力を身に付けたと認識している。これまで6名受講したが、最初に副社長に受講してもらったのは大正解だった。

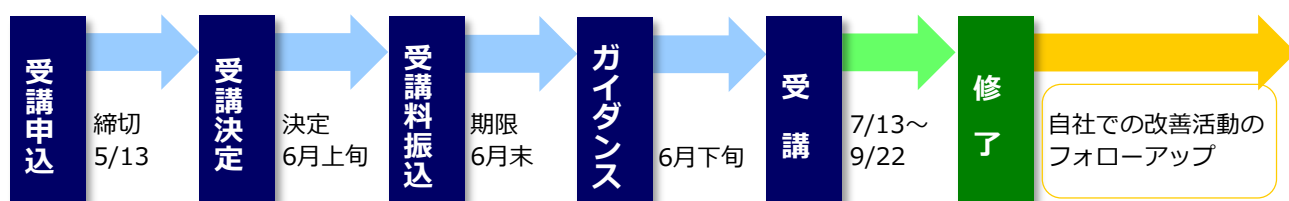
彼が率先して社内の生産性向上活動の中心となっており、組織の壁を超えて全社を引っ張ってくれた。そのあとの受講生も副社長が先頭に立ってくれているので自信を持って活動してくれているのが頼もしい。

現場実習受入企業の声（I社：小美玉市）

長年ものづくりに携わってきた社員の価値観である、とにかく効率よくモノを造ってなんぼの世界から、売れない在庫を造るよりは何もしない方がいい、金にならない在庫を造ったら会社は赤字になることを気付かせ、価値観を変えて欲しいと思い実習を受け入れた。

スクールの教えである「お客に向かっての価値の流れづくり」ということを社員に分かってもらえたことが非常に大きい。また、実習生から提案された改善案も理屈で裏付けされた内容であり、ありがたかった。

受講申込から修了までの流れ



お申込みに当たって

- 一部「Zoom」によるオンライン講義がありますので、パソコン等の端末、インターネット環境が必要になります。対応が難しい場合はご相談ください。
- 現場実習時に、安全靴、作業着、帽子（ヘルメット）等が必要になります。
- 開校日数20日間の8割（16日）以上の出席をもって修了認定します。

申込方法

5月13日（金）までに必要書類を当機構へ郵送又は持参してください。

- 必要書類**
- ①受講申込書：以下の機構Webサイトからダウンロードください。
https://www.iis-net.or.jp/page?kind=seisansei_school
 - ②会社案内：パンフレット等



お問合せ先

公益財団法人 いばらき中小企業グローバル推進機構 産業振興課

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館9階

TEL：029-224-5317 FAX：029-227-2586 E-mail：sien@iis-net.or.jp

